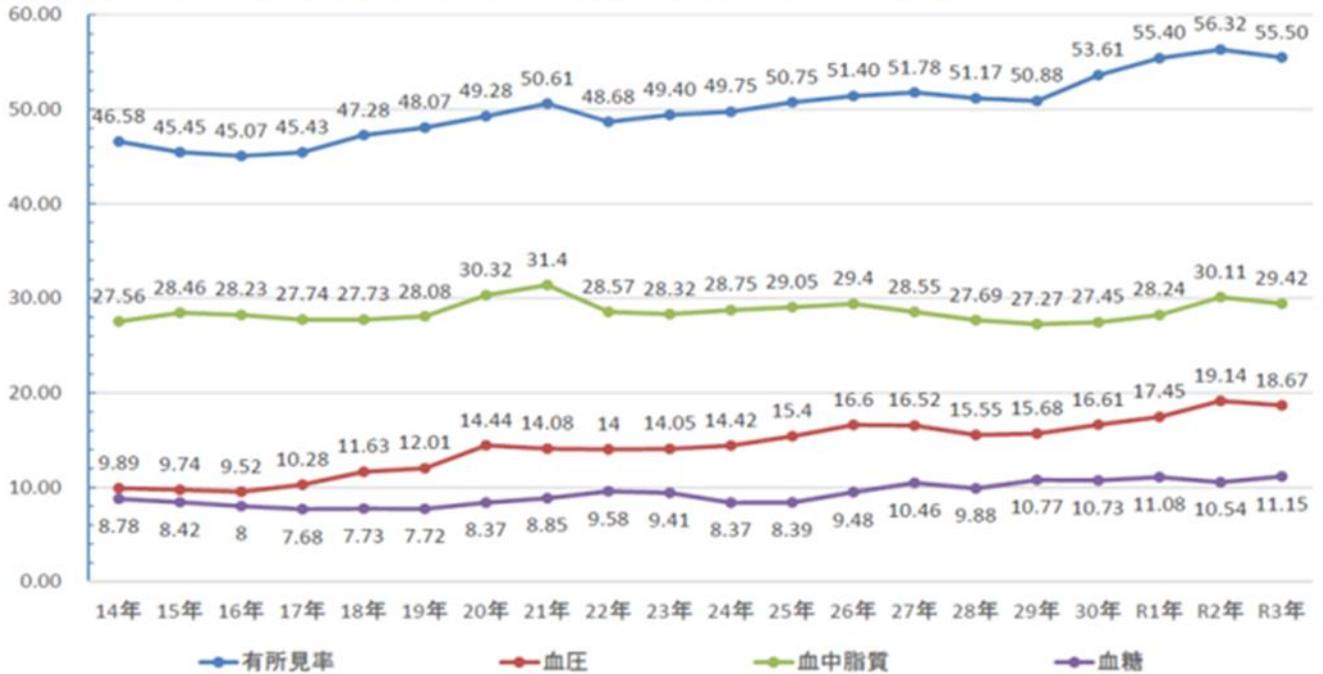




# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 2次健康診断・精密検査を受けよう運動

定期健康診断項目別有所見率の推移（金沢地区平均）



定期健康診断で何らかの異常所見のある人の割合は、金沢地区平均有所見率で 55.5%です。平成 5 年から 20 年間 46.6%から上がり続けて 10 ポイントも高くなってきました。

年齢	死因第1位	死因第2位	死因第3位	死因第4位	死因第5位
20～24	自殺	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	先天奇形等
25～29					脳血管疾患
30～34		悪性新生物	不慮の事故	脳血管疾患	
35～39	悪性新生物	自殺	心疾患	脳血管疾患	不慮の事故
40～44					肝疾患
45～49		心疾患	脳血管疾患	不慮の事故	
50～54	心疾患	自殺	脳血管疾患	自殺	肝疾患
55～59					不慮の事故
60～64		脳血管疾患	自殺	不慮の事故	

平成 25 年で勤労者の死亡原因は 30 代以下で自殺、40 代以上で悪性新生物が死因第 1 位となり、心疾患、脳血管疾患が上位を占めるようになりました。ここから、労働者の健康確保対策としてメンタルヘルスと受動喫煙防止対策、癌原性化学物質規制、過重労働対策、メタボリックシンドローム対策が推進されるようになりました。問題のメタボ

リックシンドローム指標の血圧、血中脂質、血糖検査の 3 項目を見ても、令和 3 年で、血圧 17.9%、血中脂質 33.3%、血糖検査 12.1%です。これらの項目の有所見率も年別推移をみると、グラフのとおり年々高まる一方です。

### メタボリック・シンドローム

内臓脂肪の過剰な蓄積があると、糖尿病、高血圧、脂質異常症の罹患率が上昇し、脳卒中や心筋梗塞といった動脈硬化性疾患が増加していることが示されています。従って、過剰な内臓脂肪蓄積があり、かつ、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか 2 つ以上を合わせもった状態をメタボリックシンドロームと呼び、まだ病気とは診断されていない予備群の段階から健康に留意する目的で提唱されました。診断基準は、ウエスト周囲長（へそ周りの腹囲）：男性 85cm 以上、女性 90cm 以上（可能な限り、腹部 CT 検査で内臓脂肪面積 100cm<sup>2</sup> 以上を確認）を必須とし、脂質異常（中性脂肪 150mg/dl 以上、HDL コレステロール 40mg/dl 未満のいずれかまたは両方）、血圧高値（収縮期血圧 130mmHg 以上、拡張期血圧 85mmHg 以上のいずれかまたは両方）、血糖高値（空腹時血糖値 110mmHg 以上）のうち 2 項目以上を満たすとメタボリックシンドロームと診断されます。

では、この異常所見の診断にどう対処するか。特に再検査や要精密検査の診断には、労働者がちゃんとその検査を受けること、会社がそれを支援することが大切です。



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 2次健康診断・精密検査を受けよう運動

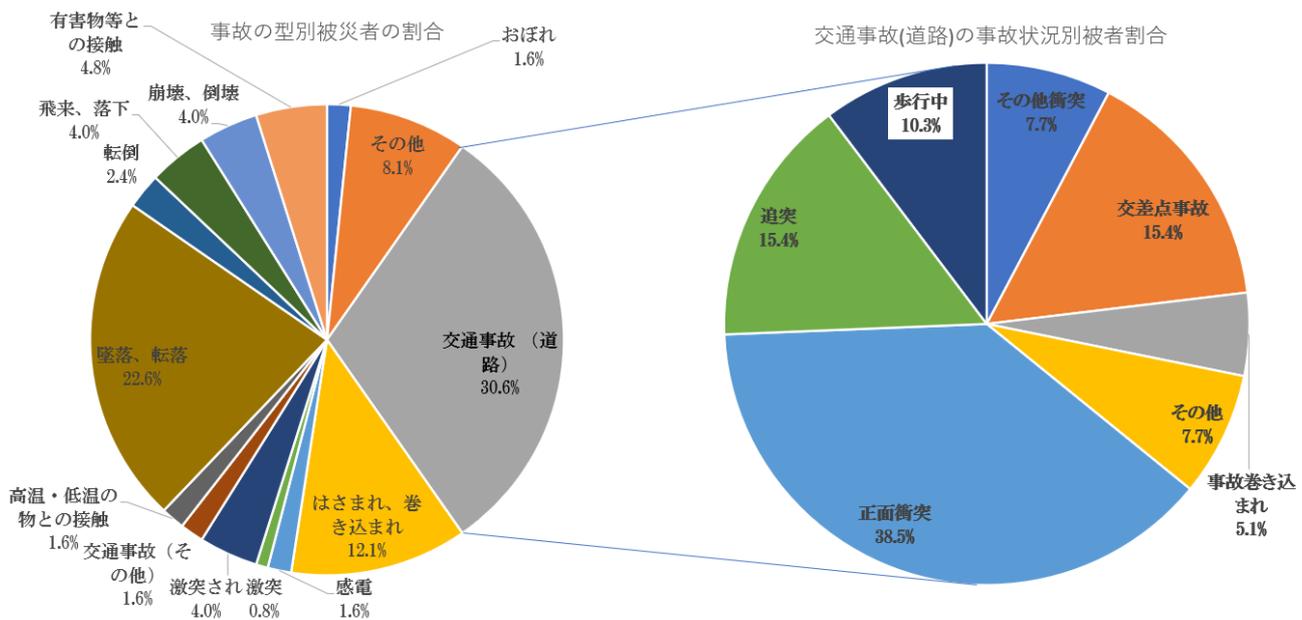
厚生労働省の「健康診断結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針」にも二次健康診断の受診勧奨が求められていますが、会社から有所見者に声をかけるだけでは、なかなか受診で貰えません。

大企業では、運動施設や運動行事、クラブ助成など健康づくり対策が行われ、人間ドックやがんの一次スクリーニング検査、PET 検査の一部会社負担という取組が行われていますが、健康診断の再検査精密検査の助成を行う企業は、2割以下で多くありません。

労働衛生の優良事業場賞の受賞企業では、健康診断再検査精密検査の助成金、各種予防接種補助金制度、禁煙外来補助金制度などを実施して、小規模事業場ながら健診受診率や再検査受診率、ワクチン接種率が良好なところがあります。再検査精密検査の助成は、小さな企業では受診者が少ないので、助成しやすいですね。



国は、一人2万円～3万円の費用を給付する労災保険二次健康診断等給付(メタボ健診)制度を設けています。ただし、血圧、血中脂質、血糖検査、腹囲のメタボ4項目をすべて満たさないと申請できません。このため、メタボ4項目以外でも各企業が独自に費用を負担して必要な精密検査を実施するところが少なくありません。労働者の健康が問題になる病変は、メタボリック・シンドロームに限らないからです。



金沢地区の過去20年間の死亡労働災害のうち、最も多い事故が正面衝突の交通事故15人です。

走行レーンを超えて相手車と衝突した事故では運転者が走行中に意識を失った例が多いわけです。意識を失った理由は、睡眠時無呼吸症候群による睡眠障害と強い眠気、不整脈による失神症状(不整脈の原因は狭心症)、正常な運転が妨げられる体調急変を起こす要因は、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血・てんかんなどの『脳の病気』と大動脈瘤・狭心症・心筋梗塞・心不全などの『循環器の病気』に加え、低血圧による意識障害、呼吸器や消化器の病気などもある。死亡災害が次に多い機械の挟まれ巻き込まれ災害でも機械操作者の意識障害による事故例があります。死亡災害以外でも梯子から落ちた労働者が右手の指がしびれて梯子を握れなかった例も指摘されています。労働者の健康が直接、事故につながっている場合もあります。

**健康診断で5割を超える有所見者には、診断された再検査や要精密検査を、労働者がちゃんとその検査を受けて貰い、原因をきちんと把握して、問題に対処できるようにしましょう。**

**会社がその受診を勧奨するには費用を助成支援することが効果的です。まずは、労災保険二次健康診断等給付(メタボ健診)制度を利用しましょう。そして、再検査精密検査の助成、各種予防接種補助制度、禁煙外来補助制度など人を大切にする福利厚生制度を充実させていきましょう。**



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 2次健康診断・精密検査を受けよう運動

### 二次健康診断受診その他健康診断の会社費用負担支援状況

二次健康診断等の項目	会社費用負担（全額負担）例	二次健康診断等の項目	会社費用負担（全額負担）例
労災保険二次健診	受信手続き支援	PET 検診 会社負担あり 90.0% 会社負担なし 10.0	<input type="checkbox"/> 30,000 円助成 <input type="checkbox"/> 30 歳以上の希望者は会社 6 割負担で受診可 <input type="checkbox"/> 40 歳・45 歳へは全額負担、50 歳以上は隔年で全額負担 <input type="checkbox"/> 対象は 50 歳以上、または 45 歳以上で喫煙歴がある者。 <input type="checkbox"/> フリンクマン指数により本人負担額(無料~5,000 円)を変えている <input type="checkbox"/> 55 歳男性を対象に全額負担 <input type="checkbox"/> 全額負担 <input type="checkbox"/> 20,000 円補助 <input type="checkbox"/> 35 歳以上を対象に全額負担 <input type="checkbox"/> 全額自己負担
定期健康診断後の会社の指示による精密検査に会社負担あり 20.0% 会社負担なし 11.1% 不明 22.2%	<input type="checkbox"/> 全額負担（制限なし） <input type="checkbox"/> 全額負担（上限 4 万円/検査月） <input type="checkbox"/> 全額負担（上限 2 万円/年） <input type="checkbox"/> 全額自己負担 <input type="checkbox"/> 工場内診療所受診の場合、保険診療自己負担割合が、2 割、一般医療機関は 3 割負担 <input type="checkbox"/> 労災保険の二次健康診断給付の利用		婦人科(マンモグラフィ、超音波、子宮頸がん検査) 会社負担あり 44.4% 会社負担なし 11.1 不明 55.6%
人間ドック 会社負担あり 66.7% 会社負担なし 11.1% 不明 22.2%	<input type="checkbox"/> 男性 25,000 円女性 28,000 円助成 <input type="checkbox"/> 35 歳以上の希望者は自己負担 1 万円(2 回目以降は 1.5 万円)で、3 年毎に、1 日コース or 1 日コース+脳ドックが受診可。 <input type="checkbox"/> 1.5 日コース+脳ドックのプランへの補助もあり <input type="checkbox"/> 全額負担（40,45,50,55,60 歳）48 歳と 51 歳以上は自己負担 10000 円で受診可能 <input type="checkbox"/> 年齢を限定し残り 3 割を会社負担 25 歳以上 7 割負担 <input type="checkbox"/> 男性 13,300 円、女性 19,000 円補助全額負担（対象年齢あり）	インフルエンザワクチン予防接種 会社負担あり 77.8% 会社負担なし 11.1 不明 11.1%	
脳ドック 会社負担あり 22.2% 会社負担なし 77.8%	<input type="checkbox"/> 脳ドックは 30 歳以上 7 割負担 <input type="checkbox"/> 全額負担（対象年齢あり）		心臓超音波検査
胃カメラ検査 会社負担あり 55.5% 会社負担なし 11.1 不明 33.3%	<input type="checkbox"/> 定期健康診断で実施（50 歳以上隔年） <input type="checkbox"/> 負担なし費用全額補助 <input type="checkbox"/> 全額負担(鎮静剤は自己負担の場合有) <input type="checkbox"/> 人間ドックで 7 割負担全額負担（対象年齢あり）	ホルター心電図検査	<input type="checkbox"/> 負担なし費用全額補助
胃バリウム検査	<input type="checkbox"/> 一部負担（本人自己負担なし）	肝炎ウイルス検査	<input type="checkbox"/> 全額負担
前立腺がん検診 大腸がん検診 腹部超音波検査	<input type="checkbox"/> 一部負担（本人自己負担なし） <input type="checkbox"/> 一部負担（本人自己負担なし） <input type="checkbox"/> 全額負担（対象年齢あり）	胸部 CT 検査	<input type="checkbox"/> 全額負担（対象年齢あり）
ABC 検査	<input type="checkbox"/> 一部負担（本人自己負担なし）	禁煙外来	<input type="checkbox"/> 一部負担



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 2次健康診断・精密検査を受けよう運動

### 二次健康診断受診費用の会社費用負担制度の導入

定期健康診断での労働者の異常所見の診断について、再検査や要精密検査の診断に、労働者がちゃんとその検査を受けるように会社が費用を負担し支援したうえで、受診を勧奨することは、病変の早期発見、治療、業務上の対応にとって、有用な手段です。

□ 定期健康診断後の会社の指示による精密検査について、受診費用の会社負担がある企業は、調査した企業の2割でした。各社の費用負担の内容をお聞きしてみると、

- ① 月若しくは1回の検査の費用の上限を4万円として全額会社負担で実施している企業
- ② 年額上限2万円として全額会社負担で実施している企業
- ③ 工場内診療所受診の場合、保険診療の自己負担割合2割、一般医療機関は3割を会社負担で実施している企業
- ④ 労災保険の二次健康診断給付を利用している企業

などがありました。

□ 定期健康診断の診断項目は、次の11項目です。(★)の項目は、医師の判断により省略が可能となります。いずれの診断項目かに異常所見が認められれば、有所見者になります。再検査や精密検査を要することが診断されれば

- 1 既往歴及び業務歴の調査
- 2 自覚症状及び他覚症状の有無の検査
- 3 身長(★)、体重、腹囲(★)(◎)、視力及び聴力の検査
- 4 胸部エックス線検査(★)及び喀痰検査(★)
- 5 血圧の測定(◎)
- 6 貧血検査(血色素量及び赤血球数)(★)
- 7 肝機能検査(GOT、GPT、 $\gamma$ -GTP)(★)
- 8 血中脂質検査(LDLコレステロール、HDLコレステロール、血清トリグリセライド)(★)(◎)
- 9 血糖検査(★)(◎)
- 10 尿検査(尿中の糖及び蛋白の有無の検査)
- 11 心電図検査(★)

労災保険二次健康診断給付の給付を受けられるのは、(◎)についた次の4つの検査の全部に異常が認められた場合です。

- ① 血圧検査
- ② 血中脂質検査
- ③ 血糖検査
- ④ 腹囲の検査またはBMI(肥満度)の測定

□ 労災保険二次健康診断給付の検査項目は、次の6項目です。

- ① 空腹時血中脂質検査
- ② 空腹時血糖値検査
- ③ ヘモグロビンA1C(エーワンシー)検査
- ④ 負荷心電図検査または胸部超音波検査(心エコー検査)のいずれか一方の検査
- ⑤ 頸部超音波検査(頸部エコー検査)
- ⑥ 微量アルブミン尿検査

たとえば、労災保険での、二次健康診断給付の検査費用は、一人2万8千円から3万2千円ほどだということです。各社の費用助成支援制度をみても、上限額を設けたり、受診年齢や受診回数を制限したり、それぞれの会社の実情に合わせて工夫しています。一度、二次健康診断受診費用の会社費用負担制度の導入を検討してみても、如何でしょうか。